

授業改革フェスで黎明生徒大活躍！

2月17日、市邨高校を会場に授業改革フェスが行われました。午前には「公開授業模擬国民投票」が開かれ、福島県の高フェス生徒も加わり生徒・教員など約100名で会場は満員。愛知高フェス前実行委員長の栗山リンダさんは、昨年5月の新入生歓迎フェス・高校生議会で提起された模擬国民投票の実施経過と中間集約結果を10分間にわたって報告しました。

模擬国民投票は全国15都道府県32校で実施されており、現在までに7700名を超える中高生が投票しています。全国でも愛知でも「改憲賛成」が約27%、「改憲反対」が73%です。



全国的な投票結果については以下の5点が特徴としてあげられました。

1. 改憲に賛成より反対が上回ったこと。男子生徒に賛成が多く女子生徒は反対が多いこと。
2. 立憲主義に関する事前学習が投票行動に違いを生んだ。
* 立憲主義：憲法は国民（＝主権者）が権力（者）を規制するもの。
3. 実行委員会が作成したビデオを視聴した影響。本番の国民投票ではテレビでの意見広告が影響をもたらす可能性が大きいことに注意する必要有り。
4. 国民投票に関して学校の取り組みの必要性を8割の生徒が認めている。
5. 実際に国民投票が実施される場合「必ず行く」「多分行く」をあわせて84%の回答。

愛知では東邦、豊橋中央、岡崎城西、淑徳高校などが先陣をきるなか、愛知黎明高校ではなかなか取り組みが進まなかったようです。生徒の実行委員会で投票率の目標を80%に設定しようという意見が出た時は「80%はええだろう。」とリンダさんは思ったそうです。しかし実行委員のメンバーが期日前投票や選管への働きかけ、ポスター作りなどの活動を工夫し、先生方の協力も得て、投票率は全国に誇れる84%を越えました。「投票に行くのが当たり前」という雰囲気できたのがこの高い投票率に示されています。



午後の生徒発表では、黎明高校模擬国民投票実行委員会のメンバーが経過やそれぞれの思いを報告しました。投票率が高かった事に関して、メンバーの一人は「人に誘われたから行く、ではだめ。自分で考え、自分で行くという姿勢でなければ意味がない。」と、なかなか厳しい意見も出し、この投票を真剣に考えていることが理解できました。黎明生の発表がほぼ同じ時間帯に重なったため、全部の発表が聴けませんでした。ごめんなさい。



この他、先生方の「教材展」では日頃の実践の一端を見させていただきました。（インターンシップでお世話になったアスクネットの肥田さんも黎明の教材を見ましたよ！）

